

“～～起来”の表す意味

平井和之

- 1 はじめに
1. 1 問題の提起
1. 2 従来の説
- 2 “起来”と“开始”
2. 1 運動の描写
2. 1. 2 運動と行為
2. 1. 2 継続不可能な動作を表す動詞につく場合
2. 2 事態の意外性
2. 2. 1 継続を表さない“起来”
2. 2. 2 心理状態を表す動詞につく場合
- 3 “起来”と“了”
3. 1 形容詞につく場合
3. 2 状態の変化
- 4 おわりに
4. 1 “起来”の表す意味
4. 2 結果補語に近い“起来”

1 はじめに

1. 1 問題の提起

中国語に於いて、動詞或いは形容詞の後に“起来”を付けることにより（動詞の後に目的語が来る場合は〔動詞＋“起”＋目的語＋“来”〕）、当該動作或いは状態の開始及びその継続を表し得ることはよく知られている。今、簡単な例を《現代汉语八百词》から引いておくと、

1) 大伙儿唱起歌来<皆歌を歌い出した>

2) 天气渐渐暖和起来<天気がだんだん暖かくなってきた>

1), 2)等がそれに当る。

しかし、このような“起来”の意味や用法についてはまだ十分明らかでないところがあるように思われる。例えば、同じく「開始」を表す“开始”は¹⁾

3)今年他开始学中文, 现在已经能看中文报了。〈今年彼は中国語を学び始め, 今では中国語の新聞を読めるようになった。〉

3)のように用いられるのに, これを“起来”を用いて

4)??今年他学起中文来(了), 现在已经能看中文报了。

4)とするとおかしい。ところが

5)现在全世界向往革命的人都在学中文, 你怎么反而学起外文来了呢?〈今, 革命にあこがれる世界中の人々が皆中国語を学んでいるというのに, お前は何でまたかえって外国語を学び出したんだ?〉(《86-1》p.382)

5)等となると極自然であるのはなぜか。また,

6)小刘, 你先走吧, 等下起雨来就麻烦了。〈劉君, 先に行きなよ, 雨が降り出したら面倒だよ〉(《动词用法词典》)

6)は言えるのに,

7)??好像要下起雨来了。

7)と言えないのはなぜか。単に「動作の開始を表し, またそれが続いていく意味もある」(《现代汉语八百词》)とするだけでは説明困難であろう。更に,

8)我偷偷地给父亲画了一张像, 逼真得很。正在得意, 忽听背后有斥责声。/“放肆, 竟画起我来了!”〈こっそり父の似顔絵を描いたところ, そっくりに描けたので得意気になっていたら, 後ろから叱声が聞えた。/「なんと無礼な! わしの絵を描くとは!」(《微》p.124)

8)に於ける“画起我来”はもはや「描く」という動作の「開始及びその継続」を表してはいない。

本稿では“起来”の表す「開始」とは如何なる意味であるのかを, 他の類似の表現と比較しつつ考えてみたい。

宋1980は“起来”の用法を, “起来₁”: そのまま動詞として用いられるもの/“起来₂”: 下から上への動きを表わすもの/“起来₃”: 動作や性質・状態の開始・発生とその継続を表わすもの/“起来₄”: 動作の結果が生じ, 何らかの目的が達成されることを表すもの/“起来₅”: “当……的时候”を表すもの, の5つに分ける。この内, “起来₃”と“起来₅”は同じものとして取り扱われることも多く, また“起来₃”と“起来₄”の区別も実際には難しい点があるのだが, 今は特に断らない限り宋1980が“起来₃”とするものを考察の対象とする。

1. 2 従来の説

先に述べたように“起来”は「(動作や状態の) 開始とその継続を表す」と説明されることが多いが, 従来の説でより具体的に述べているものを幾つか紹介する。

王1944は“情貌”(aspect)を

假定开始前某时期线(a)	(A)→(B)= 进行貌
开始线(A)	(B) = 完成貌
假定开始未久线(c)	(B)→(b)= 近过去貌
假定中途线(d)	(a)→(A)= 开始貌 ²⁾
完成线(B)	(d)→(B)= 继续貌
假定完成未久线(b)	(A)→(c)= 短时貌

の如く図解し，“起来”はこの内の“开始貌”を表すとする (p.202ff.)。木村1979の“起来”に関する見解もこれに近いが、「し始める」段階を表すと述べており、或いは(A)→(c)乃至は(A)→(d)の段階が想定されているかも知れない。雅洪托夫1958は、動作全体を表すのではなく、動作が完了される過程に於けるある重要な時点——動作の開始或いは再開³⁾——を表すとする (p.99)。これらの説はいずれも動作の各段階を時間軸に沿って展開し，“起来”やその他の標識はそれぞれの段階に対応すると見るものである⁴⁾。

これに対し、刘1988は、静的状態から動的状態に入ることを表すとし、また村松1986は、動詞や形容詞に後置される“起来”は全て (即ち宋1980の“起来₂”“起来₄”“起来₅”も含めて) 述語が無の状態から有の状態になることを表すとする。田口1984は“起来”が動作の開始と継続を意味する場合もあるが、それは常に状況変化を意識するものであって、純粋な意味での動作の開始は“开始”によって表されるとする。これらの説は、動作の段階ではなく、状態の変化を言うことに重点があると見るものである⁵⁾。

勿論これらの説はそれぞれ“起来”の表す意味のある側面を言い当ててはいるが、冒頭に挙げた例や、これから見ていく例を包括的に説明し得るものはない。というより、“起来”の意味は細かく見ていくと様々に分類でき、一般化された記述は甚だ困難である。ただどちらかと言えば、状態の変化を表すとする見解の方が、“起来”の意味をより広くカバーするようである。

“起来”の意味を探る方法であるが、「開始」を表す手段は“起来”だけに限られているわけではなく、他の語を用いても表現可能であり、そのような語と“起来”を比較すれば、“起来”自身の意味がより明確になるであろうと思われる。本稿では主に“开始”、及び“了”との比較の上で“起来”の意味を考えてみる。

2 “起来”と“开始”

2. 1 運動の描写

2. 1. 1 運動と行為

“起来”が文法的手段によって開始を表すのに対し、“开始”は語彙的手段によって開始を

表すものである。両者はこのように文法範疇を異にするものの、意味的にかなり近い場合がある。例えば

9) 当最后一位邻居……跨出门槛的时候儿，我忽地后悔起来。〈最後の隣人が……敷居をまたいで出ていったとき，私はふと後悔し出した。〉（《婚》 p.142）

10) 本来，因为他的温存，我开始后悔自己的任性：我为什么总要按照自己的生活逻辑，去刺伤他的心呢。〈もともと，彼が優しくしてくれたので，私は自分の勝手さを後悔し始めたのだった。なぜ自分は自らの生活の論理でもって彼の心を傷つけようとするのかと。〉（《陈》 p.195）

11) 肚子咕噜咕噜地叫起来，腮帮子也开始流口水。〈お腹がごろごろと鳴り出し，口の中でだれが流れ始めた。〉（《陈・髻》 p.252）

9)の“起来”と10)の“开始”，また11)の“起来”と“开始”はいずれも開始とその継続を表しているようである。しかし

12) 她开始问诊了：“……”〈彼女は問診を始めた。「……」〉（《湛》 p.200）

13) 于是，我开始锻炼自己的身体。〈そこで，私は自分の体を鍛え始めた。〉（《湛》 p.96）

12), 13)等は“起来”では表現できない。ここで9)~11)と，12), 13)の述語動詞⁶⁾に注目すると，9)~11)に於ける“后悔”，“叫（鳴る）”，“流”がいずれも仕手（動作主体）の意志によらない動作であるのに対し，12), 13)に於ける“锻炼”，“问诊”は仕手が意識的に行なう動作であることがわかる。今，仮に前者を「非意志動詞」，後者を「意志動詞」と呼ぶことにする（马庆株1988の「非自主动词」と「自主动词」に相当）。ならば“起来”は意志動詞の後には用いられないのかということそんなことはない。

14) “鸭子，鸭子，大鸭子！”孩子们拍手叫起来了。〈「家鴨だ，家鴨だ，大きな家鴨！」子供達は手を叩いて叫び出した。〉（《湛》 p.410）

15) “……”台下喊起来了。〈「……」台の下で叫び声が上がった。〉（《陈》 p.80）

14), 15)に於ける“叫”，“喊”は仕手の意志で制御可能な動作である。しかし，14), 15)は

16) “……”琅琅大声嚷嚷起来。开始是气夯夯的，说着，说着，竟放声哭起来了。〈「……」琅琅は大声でわめき出した。始めはブンブンしていたのが，しゃべっているうちに声をあげて泣き出してしまった。〉（《陈》 p.328）

17) 老爷爷一直在微微笑着，兴趣十足地打量着他们，这会儿已经忍不住哈哈笑起来。（《陈》 p.286）〈お爺ちゃんはずっとニコニコしながら興味深げに彼等を眺めていたのが，このときはもう堪えきれずにワハハと笑い出した。〉

非意志動詞である“哭”，“笑”⁷⁾を含む16), 17)と同じく，仕手の意志には注目せず，ただその場の状態・情景を述べるものである。14), 15)の他，

18) 贺鑫苦笑摇摇头, 点上一颗烟, 默默地抽起来。 <賀鑫は苦笑して首を振ると, タバコに火を着けて黙りこくって吸い出した。 > (《陈》 p.136)

19) 夏一雪把瘦小的身子蜷缩在沙发里, 嗑起瓜子儿来。 <夏一雪は細い体をソファにしずめ, 瓜の種をかじり出した。 > (《湛》 p.119)

18), 19)等も, 情景を描くものであり, 仕手の意志には関心がない。仕手の意志に関心がないということは即ち動作を物理的運動としてとらえるということである。これに対し, 12)に於ける“问诊”は, 医者のおしぐさを表すものではなく, 患者の病状理解という目的を遂行する行為であり, また, 13)に於ける“锻炼”も, 具体的な運動を表すものではなく, 体を鍛えることを目的とする活動そのものを表す。以下, 物理的運動としての動作を特に「運動」と呼び, 目的遂行活動としての動作を同じく「行為」と呼ぶことにする。そして“起来”が意志動詞につき場合, それは「運動を描写する」のであり, 「行為を叙述する」のではないと仮定してみる。そうすると, “学”を, 「知識や技能の獲得」を目的とする行為を表す動詞として用いる場合, その行為の開始は

3) 今年他学开始学中文, 现在已经能看中文报了。

4) ??今年他学起中文来(了), 现在已经能看中文报了。

1. 1で挙げた3)のように“开始”を用いるべきであって, 4)のように“起来”を用いるべきではないと説明することができる。また,

20) 他提起笔就写了起来 <彼は筆を取り上げると書き出した > (《动词用法词典》)

21) 宋小庆答了一声, 重又把目光落在素帖上, 开始写另一个名字。 <宋小慶はちょっと返事をすると再び視線を死亡通知にやり, 他の名前を書き始めた。 > (《湛》 p.308)

20)に於いて「筆をふるう」という運動を描写するには“起来”が, 21)に於いて「宛名を書く」という行為を叙述するには“开始”が用いられる理由が判る。

“说”は, 音声器官で音を発する運動を表すというより, 言語を用いて思想・感情を伝達する行為を表すことに意味の重点がある動詞である。今,

22) 秦波热情地滔滔不绝地说起来, “……”。 <秦波は親切そうに滔々と喋り出した。[……] > (《湛》 p.241)

23) 陈惠林点点头, 伸手接过信封, 低声地说起来: “……” <陳惠林はうなずくと封筒を受け取り, 低い声で喋り出した。[……] > (《湛》 p.310)

22), 23)を考えると, 22)は“热情地”も“滔滔不绝地”もなければ極めて落ち着きが悪い文である。また23)も“低声地”がないと(その前にまだ描写があるので22)ほどではないが)座りが悪くなる。このように, 行為を表すのに傾く意志動詞が運動を表す場合は状語の助けを借りることが多い。これは18)もそうであるが,

24)她倒了一杯“可口可乐”，慢慢地喝起来。看那样子，她在等她的爷们儿。＜彼女は「コカ・コーラ」を一杯つぐと、ゆっくりと飲み出した。その様子では、彼女は自分の彼氏を待っているのだろう。＞（《陈・髻》 p.252）

“看那样子”と飲んでいる様子に注目している24)もそうである。また22)に於ける“说”の表す運動が、実際には

25)刘学尧……，玩儿着空酒杯，又滔滔不绝起来：……＜劉学尧は……，からのコップをもてあそびながらまた滔々と喋り出した。「……」＞（《湛》 p.229）

25)で描写されるそれと変らないことから明らかであろう。また19)には状語がないが、この文に於いて“嗑（瓜子）”を運動としてとらえ得るのはその前の“把瘦小的身子蜷缩在沙发里”の存在に依存するところが大きい。他にも例えば

26)她走回自己的房间，拿起一本克里斯蒂的推理小说靠在沙发上读起来。＜彼女は自分の部屋に戻るとクリスティの推理小説を取りあげ、ソファーに寄りかかって読み出した。＞（《婚》 p.46）

26)の“读起来”も、一連の運動の流れの描写に支えられて運動を表していると考えられる。26)と、“开始”を用いて行為の開始を叙述する

27)我开始重新读我读过和未曾读过的小说，特别是短篇小说。＜私は改めて自分の読んだことのある、または読んだことのない小説、特に短編小説を読み始めた。＞（《婚》 p.2）27)とを比較されたい⁸⁾。

行為を叙述するとき、話し手はその行為の目的を意識している、つまり、行為の仕手の意識が話し手の視座にある。これに対し、運動の描写は仕手の意識をいわば故意に無視する。そこで、行為を表すのに傾く動詞に“开始”を用いると、話し手が仕手に接近している、即ち視点が話し手寄りにあるのに対し、“起来”を用いると話し手は仕手の立場から身を引いているという印象を与える。例えば

28)王蕾给沏茶的时候，钢钢扑到高承宗怀里告起状来：“高爷爷，爷爷说带我上公园，又不走了。”＜王蕾が茶を入れているとき、鋼鋼は高承宗の胸に飛びついて行っていつけた。「高お爺様、お爺様は公園につれてってくれると言ったのにやめちゃうんだよ。」＞（《湛》 p.302）

本来“告状”は運動としてはとらえ難いが、28)では話し手は穆志堅（＝“爷爷”）の立場から、公園に連れて行けとうるさい鋼鋼の動作を見ており、これを“……开始告状：……”とすると鋼鋼の立場に接近した表現になる。また次の29)、30)の如く、仕手の意にそぐわない行為を述べるのに“起来”が用いられるのも、“起来”の指向と、行為の目的との乖離を利用した表現であるといえる。

29) 遇到了荒年他们只好又讨起饭来<凶作に見舞われて彼等は仕方なく乞食をし出した>

(《动词用法词典》)

30) 父母都不在了, 只好指望起叔叔来了<両親共に亡くなって, 仕方なく叔父に頼るよう

になった> (《动词用法词典》)

2. 1. 2 継続不可能な動作を表す動詞につく場合

雅洪托夫1958は“起来”は非限界動詞“非限度動詞”につくとする(p.98)。逆にいえば限界動詞⁹⁾には“起来”はつかないことになるが、実際には継続不可能な動作を表す動詞にも意志動詞, 非意志動詞を問わず, “起来”はつき得る。これには二つの場合がある。一つは

31) 一进腊月, 乡亲们就宰起猪来<旧曆12月に入ると村人達は豚をつぶし出した> (《动词用法词典》)

32) 贏了两局以后, 就输起来了<2局勝った後, 続けて負け出した> (《动词用法词典》)

31), 32)のように動作が繰り返して行なわれる場合である。これらも行為を叙述するものではなく, 運動を描写しているといえる。ただ, 繰り返されている個々の動作それぞれの運動の側面を描写するのではなく, 「動作の繰り返し」という一種の状態を描写しているのである。呂1956も, ある動作が続いていけばそれも一種の状態になると指摘している(p.57)。しかし,

33) 一进腊月, 乡亲们就开始宰猪了<旧曆12月に入ると村人達は豚をつぶし始めた>

33)のように“开始”を用いれば行為を表すことができる。但し,

34) 贏了两局以后, 就开始输了<2局勝った後, 続けて負け始めた>

34)のように, 非意志動詞については“开始”を用いても行為を表し得ないのは当然である。

“起来”が継続不可能な動作に用いられるもう一つの場合は, その動作が繰り返されない場合である。

35) 走平地怎么栽起跟斗来了<平地を歩いていて何で転んだりするんだ> (《动词用法词典》)

36) 这么早就点起灯来了<こんなに早くからもう灯をつけた> (《动词用法词典》)

35)は続けて何度も転んだことを述べているのではなく, 36)は多くの灯りをつけてまわっているのを述べるのではない¹⁰⁾。事柄としては単に「転んだ」, 「灯をつけた」のであり, もはや「開始とその継続」を表さず, 当然“开始”では表し得ない用法である。この用法については次の2. 2で更に説明する。

2. 2 事態の意外性

2. 2. 1 継続を表さない“起来”

王1943は、「未だかつてなかった（“未尝有”）こと或いはあるべきではない（“不宜有”）ことにも“起来”を用いることがある。これは“开始貌”の活用といえる。」と述べ（p.224）、その例として

37) 姐姐怎么给我倒起茶来？＜姉様が何でお茶を入れてくれたりするのですか＞（《红楼梦》）

37)等を挙げる。37)は、“怎么”と言っているが、行為を問題にして「私にお茶を入れるという行為は如何なる目的遂行のためか」を問うているのではなく、「姉様が私にお茶を入れてくれた」という事態の発生が意外だと思っているのである。37)もまた35), 36)と同様、継続不可能な動作を表す動詞が述語に用いられており¹¹⁾、開始とその「継続」を表すとはとれない表現である。このような、事態の意外性を表す“起来”の用法は、意志動詞と非意志動詞を問わず、或いは継続可能な動作を表す動詞とそうでない動詞を問わずよく見られ、“开始”には見られないものである。

38) 真新鲜，顾书记也犯起小资产来了。＜驚いたね、顧書記もプチブル趣味に走るとは。＞（《谏》 p.388）

39) 这一夏天，北京的茶座都他妈臭街了。可菜市场也开起茶座来，这还是头一回听说。＜この夏、北京の音楽喫茶が町中いやになるほど増えたが、食料品市場にも喫茶ができたとは、こいつは初めて聞いた。＞（《陈・髻》 p.249）

40) 大概是那女的说起什么来啦。＜多分、あの女がなんだかんだ言ったんだ。＞（《陈》 p.141）

41) 怎么，真又修起水库来了？我心里凉了半截。＜何だと、本当にまたダムなんか作り出したのか？私はがっかりした。＞（《谏》 p.355）

42) 怎么面前坐的这位初次见面的客人忽然关心起自己的身体来了。？＜目の前に座っているこの初対面の女性はまたどうして突然私の体を気遣い出したのだろうか＞（《谏》 p.202）

38)~40)は継続を表しているとするのは不可能であり、41), 42)は事実としては継続中の動作であるが、述べるところは皆事態の意外性である。また、

5) 现在，全世界向往革命的人都在学中文，你怎么反而学起外文来了呢？

8) 我偷偷地给父亲画了一张像，逼真的很。正在得意，忽听背后有斥责声。／“放肆，竟画起我来了！”

1. 1で挙げた5)や8)に於ける“起来”も、開始とその継続を表すのではなく、事態の意外性を表す用法である。

2. 2. 2 心理状態を表す動詞につく場合

心理状態を表す動詞の内、

9) 当最后一位邻居……跨出门槛的时候儿，我忽地后悔起来。

43) 我忽然担心起王一生的身体来。〈私はふと王一生の体が心配になり出した。〉(《阿・棋》p.163)

44) 一些人开始窃窃私议，似乎也怀疑起这个会真有阴谋，怀疑起腊梅来了。(《谏》p.90) 〈何人かの人のはひそひそと話し始めた。この会には本当に陰謀が仕組まれているのではないかと疑い出し、臘梅を疑い出したかのようにであった。〉、

45) 心里这么说，可马上又觉得纳闷起来。〈胸の内でそうつぶやいてみたものの、すぐにまた不思議に思い出した。〉(《陈》p.129)

46) 我一时竟疑惑起来，搞不清这母子俩是不是明白肖疙瘩已经死去，……〈この母と息子の二人は肖疙瘩がもう死んでしまったことを理解しているのかどうか分らぬと、その時私は疑い出したものだった、……〉(《阿・樹》p.102)

9), 43)~46)のように、一時的な心理状態を表す動詞は、“起来”を用いることにより、その状態の開始を表すことができる。このような動詞については“开始”もまた、

10) 本来，因为他的温存，我开始后悔自己的任性：我为什么总要按照自己的生活逻辑，去刺伤他的心呢。

47) 我听到这个消息，激动了一夜，可细一想，又开始伤心……〈私はこの知らせを聞いて一晩中興奮していたが、よく考えてみたところ、また心が痛み始めた……〉(《陈》p.234)

48) 唉，妈妈，我又开始替你难受啦。〈ああ，お母さん，僕はまたあんたがかわいそうでいたたまれなくなっちゃったよ。〉(《陈・鬢》p.210)

10), 47), 48)のように開始を表すのに用いることができる¹²⁾。これに対して、不可逆的な心理状態を表す動詞¹³⁾は

49) 经人指点，他才慢慢明白起来〈人に指導してもらった結果，彼はやっと徐々に理解し出した〉(《动词用法词典》)

50) 想着想着，他又恨起儿子来了。〈考えている内に，彼はまた息子が憎らしくなり出した。〉(《陈》p.144)

49), 50)のように状態の開始を表したり¹⁴⁾，また

51) 不知怎么回事，他又爱起她来了〈どうしたことが彼はまた彼女を愛し出した〉(《动词用法词典》)

52) 他也懂起道理来了〈彼も物事がわかってきた〉(《动词用法词典》)

佐藤1976が“起来”はつけられないとする“爱”や“懂”¹⁵⁾も，51), 52)のように事態の発生

の意外性を表す用法では“起来”を用いることができる。また同じく佐藤1976が“起来”をつけられないとする“知道”については

53)他也知道爱起粮食来了。〈彼も食糧を大事にすることを知り始めた〉(《动词用法词典》)

53)のように、文法的には直接ついてはいないが、意味的には“起来”が“知道”と関わって意外性を表している例があった。¹⁶⁾

3 “起来”と“了”

“了”には、「変化を表し、新たな状況の出現を表す」(《现代汉语词典》)用法がある。もし、“了”によって出現をマークされた「新たな状況」がそのまま持続し得るのであれば、“了”も結果的には「状況の開始とその継続」を表し得ることになる。その場合、“了”と“起来”の間にどのような意味の違いが見い出せるであろうか。

3.1 形容詞につく場合

例えば、〔形容詞＋“起来”〕と〔形容詞＋“了”〕は共に新たな状況の出現を表すことができる。

54)他妻子沉默了一会儿，眼圈儿竟红起来：“……”〈彼女の妻はしばらく押し黙ると、眼の縁が赤くなってしまった。「……」〉(《湛》 p.202)

55)说着，姜亚芬的眼圈儿又红了。〈そう言うと、姜亜芬の眼の縁は赤くなった。〉(《湛》 p.183)

56)大家这时饭已吃净，纷纷舀了汤在碗里，热热的小口呷，不似刚才紧张，话也多起来了。〈皆この時は飯をきれいに食べ終り、次から次へと手を出して汁をすくって井に入れ、ふうふうすすりながら、先ほどの張りつめた雰囲気も解け、口数も増えてきた。〉(《阿・棋》 p.148)

57)谈起孩子，腊梅的话多了，她说：“……”〈子供の話題になると、臘梅の口数が増えた。彼女は言った。「……」〉(《湛》 p.35)

54)と55)、56)と57)に於ける“起来”と“了”はそれぞれ前にある形容詞の表す状態が出現したことを表し、実際の事態としては同じようなことを表しているようにも思われる。しかし、《现代汉语八百词》によれば、〔形容詞＋“起来”〕は、ある状態が発展し始め、その程度が深まっていくことを表し、〔形容詞＋“了”〕は、変化が既に完成し、新たな状況が出現したことを表すという違いがある。即ち“红了”、“多了”は“红”、“多”と言う状態に達したことを表し、“红起来”、“多起来”は“红”、“多”と言う状態に変化することが始まったことを表す¹⁷⁾。(但し、実際にはその区別が明らかに見て取れないことが往々にしているのは54)～57)に見ら

れる通りである。)

3. 2 状態の変化

ところが運動を表すある種の動詞については、“起来”と“了”がほとんど同じように用いられることがある。

58-a) 老头儿们一起“嘎嘎”地笑了。〈爺さん連中は一齐にカッカと笑った。〉(《陈·鬚》 p.265)

58-b) 老头儿们又“嘎嘎”地笑起来。〈爺さん連中はまたカッカと笑い出した。〉(《陈·鬚》 p.266)

58-a), 58-b)は一連の場面から抜き出した例であるが、両者に於ける“起来”と“了”の表す意味には何らの違いもないように思われる。

59) 车开了。本来是没有风的天气，车一开起来，车上的风就很大。〈トラックは出発した。もともと風のない天気であったが、トラックが走り出すと、トラックの上では風が強くなった。〉(《湛》 p.127)

60-a) “……，可是万一上了手术台咳嗽呢？嗯？怎么办？”〈……，でも万一手術台に上がったから咳をしたら？ん？どうしますか？〉(《湛》 p.236)

60-b) “……，上了手术台，你要是一咳嗽，眼珠就可能掉出来。”〈……，手術台に上がったからあなたがもし咳をしたら，眼の玉が出て落ちてしまうかも知れないですよ。〉(《湛》 p.236)

60-c) “万一呢？万一你咳嗽起来怎么办？〈万一ですよ，万一あなたが咳をし出したらどうするんですか？〉(《湛》 p.238)

59), 60-c)に於ける“起来”は条件を表しており，当面問題にしている“起来”とは違うところもあるが¹⁸⁾，この“起来”は，それまでとは異なる事態の発生を強調しているように思われる。59)の“起来”はなくても文法的には成立するが，“起来”を用いることによって，停車の状態から走る状態に移行し（その結果風を感じ）たことを強く表している。60-a~c)も一続きの場面から抜き出した例であるが，眼球手術を受ける人の妻の，心配ないという夫の言に対してのセリフであるが，「今は咳をしてなくても，手術の時に咳をする」という事態を強調するため，最後には“起来”を用いたのである。60-c)は“起来”を用いてはいるが，話し手の意識は「咳をし続ける」ことにはほとんど向けられてはいない。このように，とくに状態の発生のみ注目し，その後の継続に無関心な表現としては，

61) “心动异常！”监视着萤光屏的大夫叫了起来。〈「脈拍が異常です！」ブラウン管を監視し続けていた医者が叫んだ。〉(《湛》 p.269)

62)小护士又被他说得笑了起来,他自己也嘿嘿地笑了。<若い看護婦は彼の言葉でまた笑いだし,彼自身もへへと笑った。> (《湛》 p.258)

63)电影结束了,剧场里的光亮了起来。<映画が終り,劇場の光が明るくなった。> (刘1987例)

61)~63)のように“~了起来”の形をとるものに多く見られる¹⁹⁾。61)は緊張した沈黙状態の中で,叫び声があったことを述べている(一声叫んだだけなのに“起来”を用いているのに注意されたい)。62)はそれまで真面目くさっていた看護婦がついに笑ってしまったことを述べている。63)は,形容詞“亮”で表される状態に変化することが始まったのではなく,“亮”という状態に達したことを表しているのに,“起来”を用いているのは,それまで暗かった状態から明るい状態に移行したことを強調しているのである。また,

64)盛情难却,我们就吃了起来。<厚意を断り難く,私達は食べ始めた。> (《湛》 p.137)

64)は,「食べている最中」の運動を描写してはならず,また「食べる」という事態の意外性を述べるものでもない。どうしても断り切れずに食べることになったことを強調しているのである。

これらのことから考えて,58-a)と58-b)の間には確かにほとんど違いはないと思われるものの,58-b)は(“笑了起来”とはなっていないが)58-a)に比べ,より状態の変化を強調しているのであろう(58-b)はただ笑ったことを述べるのみ,58-b)はいったん笑うのをやめ,話し込んで,「また」笑ったことを述べている)。また,

16)“……”琅琅大声嚷嚷起来。开始是气奋奋的,说着说着,竟放声哭起来了。

16)は,2. 1. 1では単に「開始とその継続」の観点からしか解釈しなかったが,その他に,わめいていた状態から泣き出したことを強く意識しているという解釈も付け加えることができそうだ。更に,

65)小朱擦胭脂抹粉,美起来了。<朱さんは口紅を塗り,白粉をつけて,得意気になった。> (徐1985例)

65)も,「だんだん得意気になっていった」では意味的に不自然で,やはりこれも,「うって変わったように得意洋洋になった」ということを述べているのに違いない。そう見てくると,

6)小刘,你先走吧,等下起雨来就麻烦了

7)??好像要下起雨来了。

1. 1で挙げた6)は「今は降っていないがもし降り出したら」という意識があるのに対し,7)はそのような意識がなく,単に「降るだろう」ということを述べるのに,「降り始めて,降り続けるだろう」と言う必要がないから不自然なのである。

4 おわりに

4.1 “起来”の表す意味

“起来”の意味についてここまで述べてきたことをまとめると以下ようになる。

一. 開始とその継続を表す。

意志動詞の場合は、運動の側面からとらえられる。主に行為を表す動詞は、適当な状語を伴うか、一連の運動の流れの中に位置づけられる。

運動を表し難い動詞に用いられると、仕手から離れた視点を表したり、仕手の意にそぐわない行為を表す。

継続不可能な動作を表す動詞は、動作が繰り返される状態が表される。

形容詞の場合はその状態に向かう変化の開始を表す。

状態の変化を強調するのに用いられることがある。その場合、継続には余り注意がいかず、実際に継続はしないことさえある。

二. 意外な事態を表す。

行為を表す動詞に用いられるのは多くはこの意味を表す場合である。

不可逆的な心理状態を表す動詞はこの意味を表す。

継続不可能な動作を表す動詞も用いられる。必ずしも動作が繰り返されなくてもよい。

継続可能な動作を表す動詞であっても、必ずしも継続していなくてもよい。

4.2 結果補語に近い“起来”

最後にこれまでに見てきた“起来”の用法とは若干異質な用法について考えてみたい。刘1988は、状態に入ることを表す“起来”は、“把”構文には用いられず、命令文にも用いられないとする。これは開始を表す“起来”の、他の補語の用法と異なる文法的特徴である。ところが非常に珍しい例だと思われるが、

66)吃起来! (《阿·棋》p.147)

66)という例があった。しかしこれを例外乃至は逸脱文として処理するのも適当でないようだ。

“起来”は基本的には実際に起こった事態について用いられるので、命令文のみならず、未然の事態を表す文には用いられにくく、また可能補語の形式にもなりにくい²⁰⁾。しかるに

67)大家把工具在手上舞弄着，恨不能马上到山上干起来。〈皆工具を手でもてあそびながら，すぐにでも山に登って仕事を始めたくて仕方がなかった。〉(《阿·树》p.88)

68)“铁头哥哥!”琅琅真怕他们俩因为她吵起来，……〈「鉄頭兄さん!」琅琅は彼等二人が自分のために喧嘩し出すのではと本当に心配になって，……〉(《陈》p.314)

69)呆子也不忙，反倒促众人快走，因为师傅多了，常为一步棋如何走自家争吵起来。〈象

棋虫も落ち着いたもので、逆に皆に早く指せとせかすのだが、船頭多くしてというわけで、次の一手をどうするかでしょっちゅう自分達の方が争い出すのだった。〉(《阿・棋》p.129)

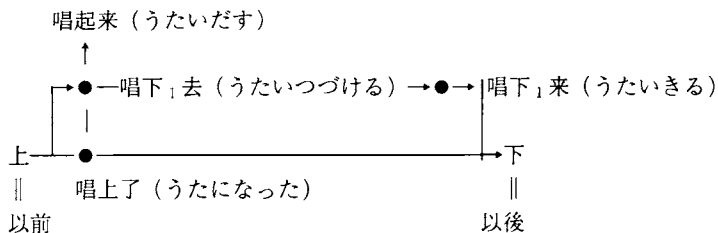
70) 中考就在眼前，我心里想着该紧张起来了，但一拿起书本就复习不下去。〈高校入試を目前にして、心の中では必死にならなければいけないと思っはいるのだが、本を取りあげたとたん勉強できなくなってしまう。〉(《北京晚报》'90. 5. 19)

71) 我们又唱了些别的，但情绪再热烈不起来。〈それから我々はまた幾つか違う歌を歌ったが、もう気分は盛り上がらなかった。〉(《86-1》p.224)

67)~71)等は皆未然の事態を表しており、しかも皆まともな文である。これらの文の述語を見ると、皆エネルギーを発散させるが如き、積極的な動作を表す動詞や形容詞が用いられている。これらの語は、刘1988が「結果義を表す」としている“烧起来”〈燃やす，燃える〉，“打起来”〈喧嘩する〉，“打扮起来”〈粧う〉，“讨论起来”〈討論する〉等と意味的に近く思われる。すると、開始を表す“起来”は、一方の極では“了”や“着”のような接尾辞に接近しており、もう一方の極では「発展，発散」等を表す結果補語（或いは結果義を表す方向補語）に接近しているとも考えられるのではないか。つまり67)~71)等は結果補語との境界線上にある用法であると見るのである。そのように考えると、66)は単に「食べ始めよう」と言っているのではなく、“打起精神来！”〈元気出して！〉，“干起来！”〈やるぞ！〉等と同様，“吃”をある種の積極的な動作ととらえた表現であって、「思うぞんぶん食おう！」，「食べまくるぞ！」等というような気持ちが表現されたものであると解釈できるのではないか²¹⁾。

注

- 1) 洪1985は，“哭起来，不安起来”とは“开始哭了，开始不安”と言うのに同じであるとしている(p.36)。
- 2) 使用した版本では「(a)→(B)」となっていたが、説明と合わないので、他の版本に従って訂正した。
- 3) 「再開」とは“下去”について述べているのであり，“起来”についてはない。
- 4) 杉村1982は



という図を示しており、これから見ると“起来”の表す意味を時間軸に沿ったものとしては見てはいないようだが、詳しい説明がないので真意は不明である。

- 5) 《动词用法词典》はただ“进入状态”とするのみであるが、これも同様の立場にあると見るべきである。
- 6) “起来”の前にある動詞が述語動詞（形容詞であれば述語形容詞）であることは問題ないが、“开始”を含む12), 13)のような文の述語は構造的には“开始”自身であるとするべきかも知れない。（“开始”以下を“开始”の目的語と見る）しかしここでは便宜上“后悔”, “流”, “锻炼”, “问诊”をそれぞれの文の述語動詞としておく。以下同断。
- 7) “哭”や“笑”は故意に行なうことも可能な動作であり、単独で“哭!” <泣け! > “笑!” <笑え! > という形で用いることができる。そこで马庆株1988はこれらの動詞も“自主动词”とし、それに“非自主用法”があるとする。動詞分類の観点からはそう処理するべきだが、当面の議論に関わらないここではひとまず“笑”, “哭”を非意志動詞としておいた。
- 8) 意志動詞の表す動作を、運動と行為という二つの意味的側面からとらえることは“起来”と“开始”の問題のみならず、他の文法現象の理解にも役立つと思われるので、ここで簡単に触れておく。
- ・ “着”は動作の進行を表す用法を持つとされることがあるが、それは主に運動としてとらえられる動作を描写する用法である。例えば
 - a) 教授点上烟斗, 一口一口地抽着。 <教授はキセルに火を着けるとスパスパと吸った。 > (《陈》 p.236)
 - a) に於ける“抽”を運動としてとらえるためには“一口一口”が必要で、これがなければ単独の文としては極めて不自然である。また,
 - b) 她用那中指在桌面上一下一下地画着。 <彼女はその中指で机の上を一筋々々とこすった。 > (《陈》 p.220)
 - b) についても同様で、“??她在桌面上画着。”は極めて不自然である。a), b) を, “起来”を用いた本文の例文20), 及び
 - c) 他横一道竖一道的画起来了。 <彼は横に一筋, 縦に一筋と線を引き出した > (《动词用法词典》)
 - c) と並べて御覧いただきたい (c) も“画起来”単独では辞書の例文としては座りが悪いから状語を付けたのであろう)。これに対し
 - d) 秦宏越谈越起劲, 粗壮的手臂挥舞着, …… <秦宏は話すほどに興が乗ってきて, 太い腕を振り回していたが, …… > (《常用词用法例释 第三集》)
 - d) “挥舞”は主に運動を表す動詞であり、単独で“着”を伴って動作の進行を表すことができる。 “着”と対照的に、やはり動作の進行を表すとされる“在”は、行為としての動作の進行を表す。藤堂・相原1985が, “在V”は「どういう(種類の)動作・行為」をしているのかを問題にし, “着”は「どんなふうになっているのかというVのすがた(相)」に関心を向けるとし (p.76ff.), 沢田1983が, “着”は「動作・作用そのもののあり方・姿」を問題にし, “在”は「行為の存在の有無」「動作の何たるか」を問題にするとするのはこの謂いである。
 - e) 两人走在人行道上, 赖子全神贯注地盯着前方。 “赖子在看什么呀?” <二人は歩道を歩いていた。 頼子の視線は, 前方にひたと据えられている。「頼子, 何を見てるんだ?」 > (沢田1983引例)
 - e) では“全神贯注地盯”という運動の描写に“着”用い, “看什么”と行為の目的を尋ねるのに“在”を用いられおり, 使い分けが明確に現れている。
 - ・ [主語+動詞+“在”+場所] の形で
 - f) 汽车奔驰在盘山道上。 <車が曲りくねった山道を疾走している。 >
 - g) 人与马的惨叫声回荡在幽谷中。 <人馬の悲鳴が深い谷底に響き渡った。 >
 - h) 他慢步在公园里。 <彼は公園をブラブラ歩いている。 >
 - f) ~ h) のように「ある事物が一定の場所内で動き続けている」意味を表す文がある。このような文は運動を描写するものであり, 用いられる動詞も運動を表す非意志動詞である。
 - i) *孩子们跑在操场上。

- j) *他游在水池里。
 k) ?鱼游在水池里。
 i) ~ k) のように意志動詞だけではだめで (k) が j) ほどおかしくないのは仕手が意志を持たないため),
 l) 孩子们三三两两地跑在操场上。 <子供達が数人づつ散り散りになって運動場を走りまわっている。 >
 m) 鱼悠然自得地游在水池里。 <魚が悠然と池の中を泳いでいる。 >
 l), m) のように状語を用いて運動の側面を強化しなければならない。
 ・二音節動詞が A A B B 型の重ね型になると、運動の側面が非常に強く出る。
 n) 老大爷指点我怎样积肥选种。 <お爺さんは私に堆肥の積み方や種籾の選び方を指図してくれた。 > (《現代汉语词典》)
 o) 赵云飞如今只能提着手杖在球场外指指点点, …… <趙雲飛も今ではただ杖を手に下げてコートの外であれやこれや指図したり, …… (《婚》 p.124)
 A B A B 型の重ね型は勿論行為を表す。
 p) 这台机器怎么操作, 你指点指点好吗? <この機械はどうやって操作するのかちょっと(そばで実際に) 教えてくれませんか。 >
 9) 雅洪托夫1958の「限界動詞」「限度動詞」とは, 「何らかの結果の概念と不可分の動作, 或いは動作が行われた後それ以上続けることができない時点の概念と不可分の動作を表す動詞」のことであり, “开, 送, 偷, 告诉, 请, 杀, 放, 挂, 点, 扔, 成, ……” 等がその例である (p.82)。
 10) 但し, 35), 36) とも動作の繰り返しの解釈を全く拒むわけではない。
 11) 「一杯の茶を今まさについでいる最中」という事態も考えられないではないが, 少なくとも39) ではもう茶はつがれている。39)の直前の文(第二十六回)は“他(=贾芸)看见这丫鬟, 知道是袭人, 他在宝玉房中, 比别人不同, 如今端了茶来, 宝玉又在旁边坐着, 便忙站起来, 笑道: ”となっている。
 12) “开始”と“起来”の相違について, 佐藤1976は, “开始”は漸次性を表すことができるが, “起来”は単なる開始を示すだけであるとする。
 13) 不可逆的な心理状態を表す動詞とは
 “*爱/恨/懂/知道/明白/理解/希望+了+一年”
 のように, 時間量を後置できない心理動詞。
 14) “恨”の状態の開始を表すするには
 q) 张春元这一下子, …… , 反倒使韩德来恨上他了。 <張春元のこの行為の結果, …… , 逆に韓德来が彼を憎むようになった。 > (《陈》 p.72)
 q) のように“上”を用いるのが普通である。50)は状態の変化を強調している(3. 2) のかも知れない。次の r) をも参照されたい。
 r) (忽然恨起来) 谁要你劝我? 倒掉! (自己觉得失了身分) …… <(突然憎らしくなり) 何でおまえなんか私に意見するんだね? 捨てなさい! (自ら身分を忘れてしまったと思い) …… > (宋1980引例)
 15) 佐藤1976は実際には“懂”ではなく“懂得”には“起来”がつかないとしている。しかし“懂得”にはそもそも語構成上(“~得”の形式)方向補語や結果補語が付き得ない。
 16) “希望”には“起来”がつけられないようである。また, “觉得”, “感到”, “认为”, “以为”等は語構成上方向補語や結果補語が付き得ない。
 17) s) 但是, 现在说这些也晚了。 <しかし, 今さら言ってももう遅い。 > (《湛》 p.34)
 t) 那天晚上, 佳佳的病基本好了, …… <その日の夜, 佳佳の病気は大体よくなった。 …… > (《湛》 p.243)
 s), t) に“起来”が用いられないのはこの理由による。これらは“晚”, “好”と言う状態に既になったことを述べるものだからである。
 18) しかしまた宋1980が“起来_s”の例として挙げる

- u)难怪写起来比较得心应手。<どうりで書き出すと比較的思いのままにいく。>
 v)……玩儿起来胆子大得很; ……<……遊びとなると肝っ玉が太く……>
 w)……, 比起一般的车夫来, 他也不能算是很坏。<……, 普通の俵引きに比べると彼はそれでもひどく悪いとはいえなかった。>

u)~w)とは若干性質が異なるようでもある。

19)但し, “~了起来”のかたちであっても, 状態変化がそれほど強調されないものもある。

- x)他划着了火柴, 点上烟, 默默抽了起来。<彼はマッチを擦ると, タバコに火を着け, 黙って吸い出した。> (《陈》p.244)

x)は, 一連の運動の描写に重点があるようだ。

20)但し, 可能性について述べる文であれば, 未然の事態についても用いられ得る。

- y)这次, 你病得很重, 但我总觉得你会好起来的。<今回あなたは重い病気になってしまったのだけれど, でもきっとよくなるはずだと思います。> (《湛》p.280)

21)实际66)は, 貧しい食生活を強いられていた下放青年達が, ある日蛇を捕まえたので, 丁寧に料理して皆で食べる場面のセリフである。

文献目録

- 洪心衡1985.『能愿动词 趋向动词 判断词』(修订本)。上海:上海教育出版社(1985.6)
 木村英樹1979.「(テンス・アスペクト)中国語」,『講座日本語学11 外国語との対照Ⅱ』,19-39頁。東京:明治書院(1979.10.25)
 刘月华1987.「表示状态意义的“起来”与“下来”之比较」,『世界汉语教学』预刊1,14-16頁。
 刘月华1988.「趋向补语的语法意义」,中国语文杂志社编『语法研究和探索(四)』,74-88頁。北京:北京大学出版社(1988.9)。
 吕叔湘1956.『中国语法要略』(修订本)。北京:商务印书馆(1982.8新一版)。
 吕叔湘主编1980.『现代汉语八百词』。北京:商务印书馆(1980.5)。
 马庆株1988.「自动词和非自动词」,『中国语言学报』第3期,157-180頁。
 孟琮等1987.『动词用法词典』。上海:上海辞书出版社(1987.6)。
 村松恵子1986.「現代中国語のアスペクトと、いわゆる結果補語、方向補語」,『日本福祉大学研究紀要』第69号,164(73)-145(92)頁。
 佐藤晴彦1976.「<開始>について」,『人文研究』第28巻第4分冊,24-40頁。
 沢田啓二1983.「“在”小考」,『伊地智善継・辻本春彦両教授退官記念 中国語学・文学論集』439-464頁。東京:東方書店(1983.12.10)。
 宋玉柱1980.「说“起来”及与之有关的一种句式」,『语言教学与研究』第1期,16-21頁
 杉村博文1982.「方向補語「下」「下来」「下去」解説(含「方向補語「下」「下来」「下去」用例)」,『日本語・中国語対応表現用例集Ⅳ』,73-134頁。
 田口理一1984.「中国語動詞のアスペクト(上),(下)」,『中国語研究』第23号,1-18頁,同第24号,29-57頁。
 藤堂明保・相原茂1985.『新訂 中国語概論』。東京:大修館書店(1985.7.1)。
 王力1943.『中国现代语法』(王力文集 第二卷)。济南:山东教育出版社(1985.5)。
 王力1944.『中国语法理论』(王力文集 第一卷)。济南:山东教育出版社(1984.11)。
 徐静茜1985.「也论“下来”“下去”的引申用法」,『汉语学习』第4期,1-4頁。
 雅洪托夫1958.陈孔伦译,『汉语的动词范畴』。北京:中华书局(1958.11)。

例文出典

《现代汉语词典》(第二版)。商务印书馆(1983.1)。

《作文词典》。商务印书馆(1984.9)。

《常用词用法例释 第三集》。中国人民大学出版社。(1986.10)

《湛容小说选》。北京出版社(1981.5)。(=《湛》)

《陈建功小说选》。北京出版社(1985.10)。(=《陈》)

陈建功《鬻毛》，《一九八六年中篇小说选(第二集)》。人民文学出版社(1988.2)。(=《陈·鬻》)

苏叔阳《婚礼集》。北京十月文艺出版社(1984.9)。(=《婚》)

阿城《棋王》，《一九八四年中篇小说选(第二集)》。人民文学出版社(1985.8)。(=《阿·棋》)

阿城《树王》，《中国作家》一九八五年第一期。(=《阿·树》)

《一九八六年中篇小说选(第一集)》。人民文学出版社(1988.2)。(=《86-1》)

《微型小说选(5)》。江苏人民出版社(1985.1)。(=《微》)

“~~起来”的语法意义 提要

一般认为，动词或形容词后的“起来”的语法意义，是表示“动作或状态的开始和持续”的，但这种解释似嫌笼统些，尚待进一步阐明。本文试图通过“起来”与“开始”及“了”相比较，初步分析其语法意义如下：1)着眼于谓语动词的动作情态，描写该动作以何种面貌发生。不涉及施事者的主观意愿如何。有时强调状态变化，不表示持续；2)说明该动作的发生就说话者而言是未预料到的。本文还指出，自主动词大都具备两种语义面，即“运动”(动作的情态)及“行为”(动作的指向)。这两种语义面时隐时显，对“起来”所表示的意义，起关键作用。